

国際獣疫事務局（OIE）、見解及び WTO/WHO/FAO との共同声明を発表

[http://www.oie.int/eng/en\\_index.htm](http://www.oie.int/eng/en_index.htm)

1. 「豚・豚由来製品の国際貿易の安全性に関する OIE の見解」(2009/4/28)

[http://www.oie.int/eng/press/en\\_090428.htm](http://www.oie.int/eng/press/en_090428.htm)

〔概要、食品安全委員会事務局仮訳〕

現在の A/H1N1 によるヒトの健康に関する事案が豚インフルエンザと表現されているため、OIE は、特に豚及び豚由来製品の国際貿易について、動物衛生の観点から事実をさらに明らかにしたい。OIE は状況の進展に応じて、引き続き新着情報に対応していく。

OIE がこれまでに入手した情報によれば、現在米国及びメキシコで発生しているインフルエンザの集団感染に先行して、豚インフルエンザの集団感染が発生していたことを示す情報は現時点ではない。

数日中に現在実施中の科学的調査の結果が出て、ヒトの間で広がっているこのウイルスが豚、鶏、馬などの動物種に感染しうるかどうかを示されるはずである。

現在の疾病を「豚インフルエンザ」と呼ぶのは正しくない。現在感染が広がっている (circulating) このウイルスには、ヒト、鳥及び豚由来の遺伝子構成要素が含まれている。過去に発生したアジア・インフルエンザやスペイン・インフルエンザの集団感染などの命名法にならない、OIE はこの新型ウイルスを「北米インフルエンザ」と呼ぶことを提言する。

ヒトの感染症例が発生している地域において動物での症例が確認されていないことから、豚や豚製品の国際貿易において特別な措置を講じる必要はなく、豚肉製品の消費者に感染のリスクが及ぶことを考慮する必要もない。

2. 「インフルエンザ A/H1N1 に関する WTO/OIE/WHO/FAO 共同声明」(2009/5/2)

[http://www.oie.int/eng/press/en\\_090503.htm](http://www.oie.int/eng/press/en_090503.htm)

〔概要、食品安全委員会事務局仮訳〕

インフルエンザ A/H1N1 の感染の拡大、また豚からウイルスが検出される可能性、及び豚肉及び豚肉製品の安全性への懸念が高まっていることに関し、WHO、FAO、コーデックス委員会、OIE が推奨する適正衛生規範に従って取り扱われた豚肉および豚肉製品が感染源となることはない、と強調する。これまでのところ、食品を介してウイルスが伝播する証拠はない。よって、OIE 陸生動物衛生基準規約上、豚やその製品の輸入に貿易対策を講じる正当な根拠はない。

しかしながら、動物衛生管理当局は、公衆衛生部門と協力して、インフルエンザ A/H1N1

のヒトの症例と関連性が疑われる異常な症状がないか、豚の群を監視することが重要である。

### 3. 「カナダの豚における『A/H1N1』の発見に関する OIE の見解」(2009/5/4)

[http://www.oie.int/eng/press/en\\_090504.htm](http://www.oie.int/eng/press/en_090504.htm)

〔概要、食品安全委員会事務局仮訳〕

カナダの動物衛生当局は 2009 年 5 月 2 日、アルバータ州の 1 養豚農場で「A/H1N1 ウイルス」感染があった旨発表した。農場で働いている大工が豚への感染に関係しているとみられる。この大工は、メキシコに短期滞在し、帰国後にインフルエンザの症状を呈したが、現在は回復している。

当該農場の数頭の豚は、食欲が落ち、呼吸器症候群を示した。カナダ動物衛生当局は直ちに農場を隔離することを決定した。複数の豚の検体から A/H1N1 ウイルスの陽性反応が出た。症状は穏やかで、現在豚は回復している。

この事象は OIE 規則の新興疾病に相当するため、カナダ当局は OIE への正式な通知を提出する予定。

### 4. 「人から豚への『A/H1N1』ウイルス伝播による貿易制限の賦課に対する OIE の考え方」(2009/5/7)

[http://www.oie.int/eng/press/en\\_090507.htm](http://www.oie.int/eng/press/en_090507.htm)

〔概要、食品安全委員会事務局仮訳〕

「A/H1N1」新型インフルエンザによるヒトの症例を公表した国が輸出する動物および動物由来製品に対し、世界の数か国が貿易制限を課している。豚・豚製品の輸入に禁止措置を課すことは、OIE はじめ、動物衛生および食品安全のための各種国際機関が定める国際基準にそぐわない。

「A/H1N1」ウイルスのヒトから豚への初感染は、OIE 規約の新興疾病に関する規定に基づき、2009 年 5 月 5 日にカナダから OIE に正式な通知がなされた。問題のウイルスは、新型 (novel) インフルエンザ「A/H1N1」ウイルスである。一方、「従来型 (classical)」豚インフルエンザウイルスによる疾病は別の疾病であり、豚での症状は軽く、感染がヒトに深刻な影響を及ぼすことは稀なことから、OIE への届出義務はない。OIE は、この新興疾病について、今後適正な基準を設ける予定にしている。

豚肉・豚肉製品の安全性については、2009 年 5 月 2 日に公表された WHO,FAO,WTO との共同声明の提言を繰り返し強調する。